

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成31年3月22日(2019.3.22)

【公開番号】特開2017-142426(P2017-142426A)

【公開日】平成29年8月17日(2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-24661(P2016-24661)

【国際特許分類】

G 03 B	15/05	(2006.01)
G 03 B	17/04	(2006.01)
G 03 B	17/14	(2006.01)
G 03 B	17/02	(2006.01)
G 03 B	15/03	(2006.01)
G 02 B	7/02	(2006.01)
H 04 N	5/225	(2006.01)

【F I】

G 03 B	15/05	
G 03 B	17/04	
G 03 B	17/14	
G 03 B	17/02	
G 03 B	15/03	H
G 02 B	7/02	E
H 04 N	5/225	F

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月5日(2019.2.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

カメラ本体に対して着脱可能なレンズ装置であって、
撮影光学系と、
被写体の照明に用いられる光源と、
前記撮影光学系の光学配置に基づいて、前記光源の点灯制御を行う制御部とを有することを特徴とするレンズ装置。

【請求項2】

前記制御部は、前記撮影光学系が沈胴状態の光学配置である場合に、前記光源を消灯させることを特徴とする請求項1に記載のレンズ装置。

【請求項3】

前記カメラ本体と通信が可能であり、
前記制御部は、さらに、前記カメラ本体の撮影モードに基づいて、前記光源の点灯制御を行うことを特徴とする請求項1または2に記載のレンズ装置。

【請求項4】

前記制御部は、前記撮影光学系がマクロ撮影状態の光学配置であり、前記撮影モードが所定の撮影モードであることを検出した場合に、前記光源を点灯させることを特徴とする請求項3に記載のレンズ装置。

【請求項 5】

前記所定の撮影モードは、ファインダ非使用モード、タイマー撮影、リモート撮影のいずれかであることを特徴とする請求項4に記載のレンズ装置。

【請求項 6】

前記制御部は、前記撮影光学系が非マクロ撮影状態の光学配置である場合に、前記光源を消灯させることを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載のレンズ装置。

【請求項 7】

前記制御部は、前記撮影光学系が非マクロ撮影状態の光学配置であり、前記光源を手動で点灯させる点灯操作手段を介して点灯指示を受け、かつ前記カメラに設けられ撮影指示に用いられるシャッターボタンが操作された場合に、前記光源を点灯させることを特徴とする請求項3乃至5のいずれか1項に記載のレンズ装置。

【請求項 8】

撮影光学系と、
被写体の照明に用いられる光源と、
前記光源の点灯制御を行う制御手段と、
前記撮影光学系の光学配置を検知する検知手段と、を備えたカメラ装置において、
前記制御手段は、前記検知手段による検知結果に基づいて前記光源の点灯制御を行うことを特徴とするカメラ装置。

【請求項 9】

前記制御手段は、前記検知手段が、前記撮影光学系が沈胴状態の光学配置であることを検知した場合に、前記光源を消灯させることを特徴とする請求項9に記載のカメラ装置。

【請求項 10】

前記制御手段は、前記検知手段が、前記撮影光学系がマクロ撮影状態の光学配置であることを検知し、撮影モードが所定の撮影モードであることを検出した場合に、前記光源を点灯させることを特徴とする請求項8または9に記載のカメラ装置。

【請求項 11】

前記光源の点灯／消灯をユーザーが指示するために用いられる点灯操作手段と、
撮影指示に用いられるシャッターボタンと、を有し、
前記制御手段は、前記検知手段が、前記撮影光学系が非マクロ撮影状態の光学配置であることを検知し、前記点灯操作手段からの点灯指示を受け、かつ前記シャッターボタンが操作された場合に、前記光源を点灯させることを特徴とする請求項8乃至10のいずれか1項に記載のカメラ装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記目的を達成するため、本発明に係るレンズ装置は、カメラ本体に対して着脱可能なレンズ装置であって、撮影光学系と、被写体の照明に用いられる光源と前記撮影光学系の光学配置に基づいて、前記光源の点灯制御を行う制御部とを有することを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 0

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

また、本発明に係るカメラ装置は、撮影光学系と、被写体の照明に用いられる光源と、前記光源の点灯制御を行う制御手段と、前記撮影光学系の光学配置を検知する検知手段と、を備えたカメラ装置において、前記制御手段は、前記検知手段による検知結果に基づいて前記光源の点灯制御を行うことを特徴とする。